

あなたは 愛されています

大学宗教主任 シュー 土戸 ポール

ローマの信徒への手紙 第8章38~39節

私は確信しています。死も命も、天使も支配者も、
現在のものも将来のものも、力あるものも、高いものも深いものも、
他のどんな被造物も、私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から
私たちを引き離すことはできないのです。

新学年度にあたり、とてもシンプルで、最も大切なことから始めたいと思います。これは、青山学院に集うすべての皆さん、そしてご家族の皆様にも、何よりも最初にお伝えしたいメッセージです。

「あなたは愛されています」

この言葉は、あなたが何かを成し遂げる前から、あなたに向けられています。新しい環境で「早く結果を出さなければ」「周囲に認められなければ」と焦る必要はありません。あなたがすべてを理解できるようになる前から、成功する前から、あるいは何かに挑戦する前からであっても、この事実は揺らぐことはありません。

キリスト教の信仰において、すべての出発点は「愛」にあります。それは、良い成績や素晴らしい実績への「ご褒美」として与えられるものではありません。懸命に努力して、ようやく手に入れる対価でもありません。それは、神さまからあなたへの、一方的で無条件な「贈り物」なのです。

自分の価値を証明しなくていい

私たちは日々の生活の中で、つい「自分にどれだけの価値があるか」を証明しようとしてしまいます。しかし、聖書が語る神の愛は、私たちの信仰の強さや行いの正しさから始まるものではありません。神の愛は、神ご自身から始まり、すでにあなたを包んでいます。



つまり、あなたはここで、無理をして自分を取り繕う必要はありません。本当の自分を隠して、強く見せる必要もありません。あなたは、今のままで、すでに神に受け入れられています。「何ものも、神の愛から私たちを引き離すことはできない」という聖書の言葉は、単なる気休めではありません。この愛は、傷ついた心を癒やし、疲れ果てた状態から私たちを回復させ、もう一度前を向いて歩き出す力を与える「命の源」なのです。

誰もが「そのまま」でいられる場所

青山学院大学では、毎日の礼拝や、毎週火曜日の夕方に学生主体のコンテンポラリー礼拝が行われています。そこでは、学生や教職員、時には卒業生や教会の方々が集まり、この変わる事のない愛を思い出し、喜び、体験する時間を過ごしています。

この礼拝のコミュニティは、すべての人を迎え入れる神の愛の上に築かれています。ここに来るために、特定の宗教的な立場に当てはまる必要はありません。プロテスタントでもカトリックでも、クリスチャンでもそうでなくても、あるいは宗教に興味がある人も、大きな疑問を抱えている人も、皆等しく歓迎されています。

多様な背景を持つ人々が、それぞれの重荷を抱えたまま集うことができる、こうした徹底したもてなしこそが、福音の中心そのものなのです。

あなたの居場所として

学校生活や日々の生活は、刺激的で楽しいものですが、同時に孤独や不安、言いようのない疲れを感じる場面も少なくありません。もしあなたが今、「どこにも自分の居場所がない」と感じていたとしても、これだけは覚えていてください。あなたは、いつでも、神を礼拝する場に属しています。

礼拝は、テストの場でも発表の場でもありません。正しい言葉や正しい信仰を持っているかを問われる場所でもありません。礼拝は、あなたが深く息をつき、肩の力を抜ける場所です。

疲れている時も、迷っている時も、あるいは希望にあふれている時も、ありのままに来てください。イエス・キリストはこう言われました。

「疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう。」
(マタイ 11:28 新共同訳)

礼拝は、あなたの心を休める場所です。日々の生活に圧倒されそうとき、自分の価値が見えなくなったとき、どうか思い出してください。

あなたは愛されています。

あなたは、いつでも神様から歓迎されています。